



# 2017年度 決算説明会 イビデン株式会社 (4062)

2018年5月2日

**このプレゼンテーション資料には、2018年4月26日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。**

**世界経済・競合状況・為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。**

# 2017年度 実績

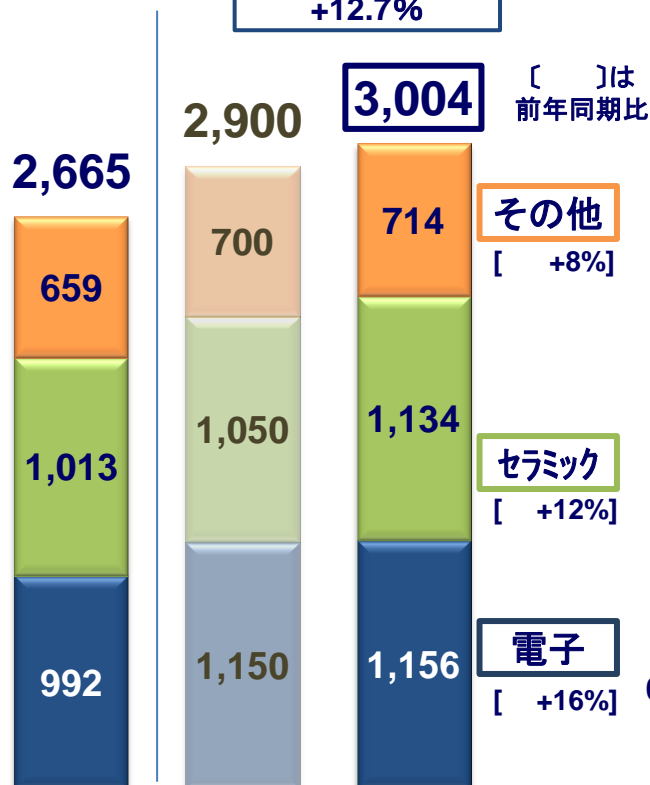
# 2017年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 実績



## 売上高

(億円)

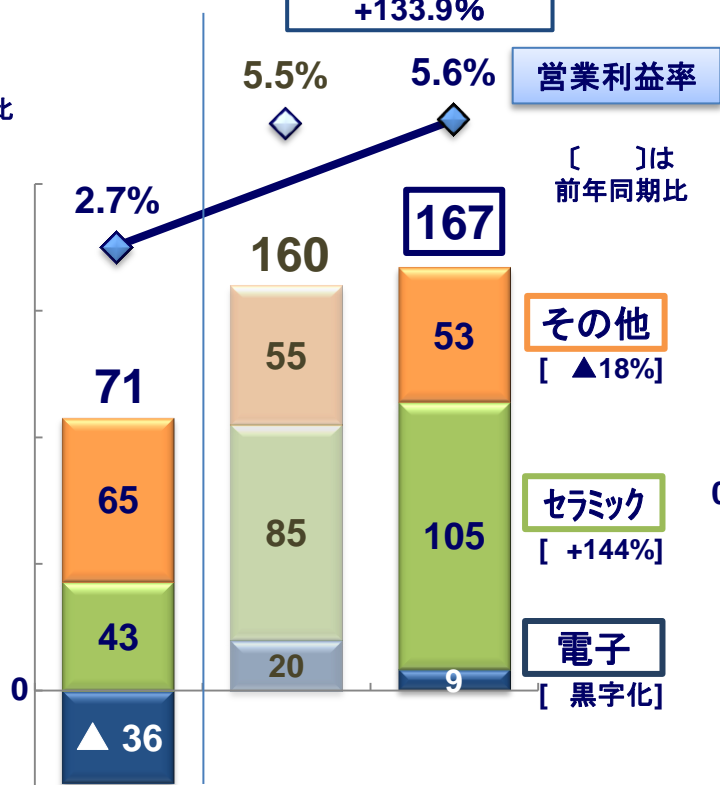
前年同期比  
+12.7%



## 営業利益

(億円)

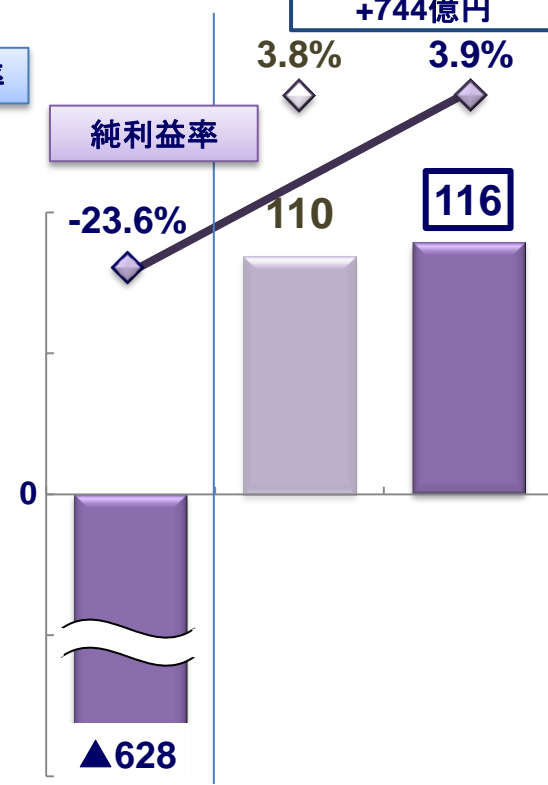
前年同期比  
+133.9%



## 純利益

(億円)

前年同期比  
+744億円



実績 16年度 | 2/5 開示 17年度 | 実績 17年度

実績 16年度 | 2/5 開示 17年度 | 実績 17年度

実績 16年度 | 2/5 開示 17年度 | 実績 17年度

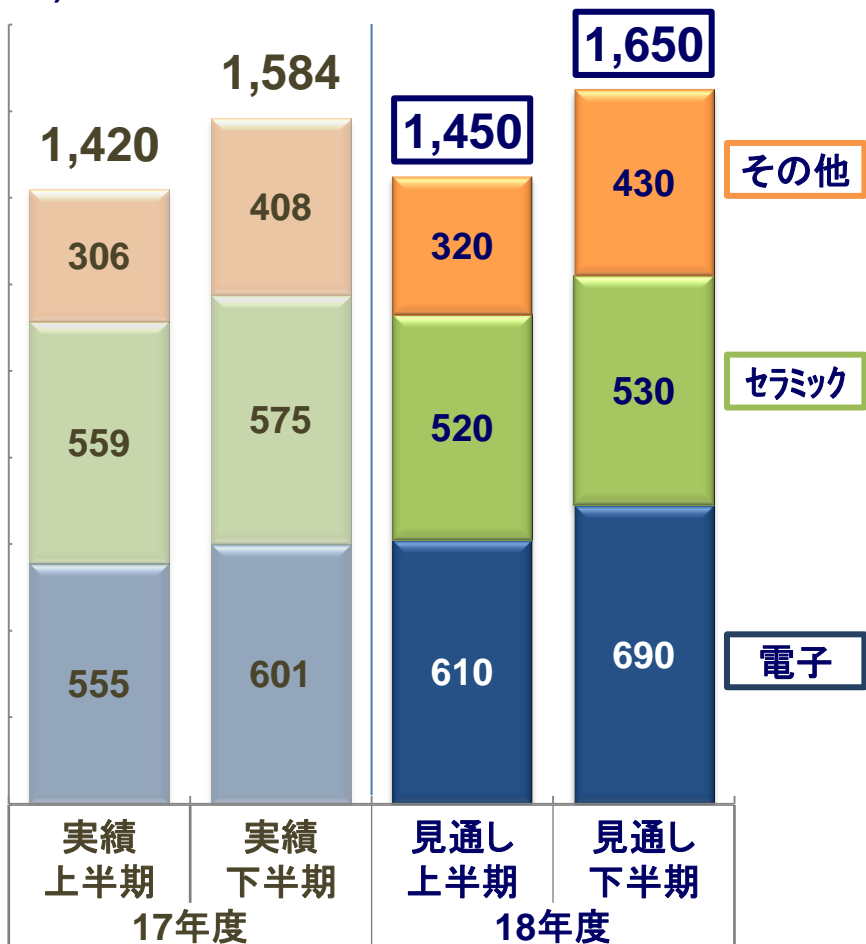
107	111	110	為替(ドル)
118	124	127	為替(ユーロ)

# 2018年度 見通し

# 2018年度(半期) 売上高・営業利益 見通し

## 売上高

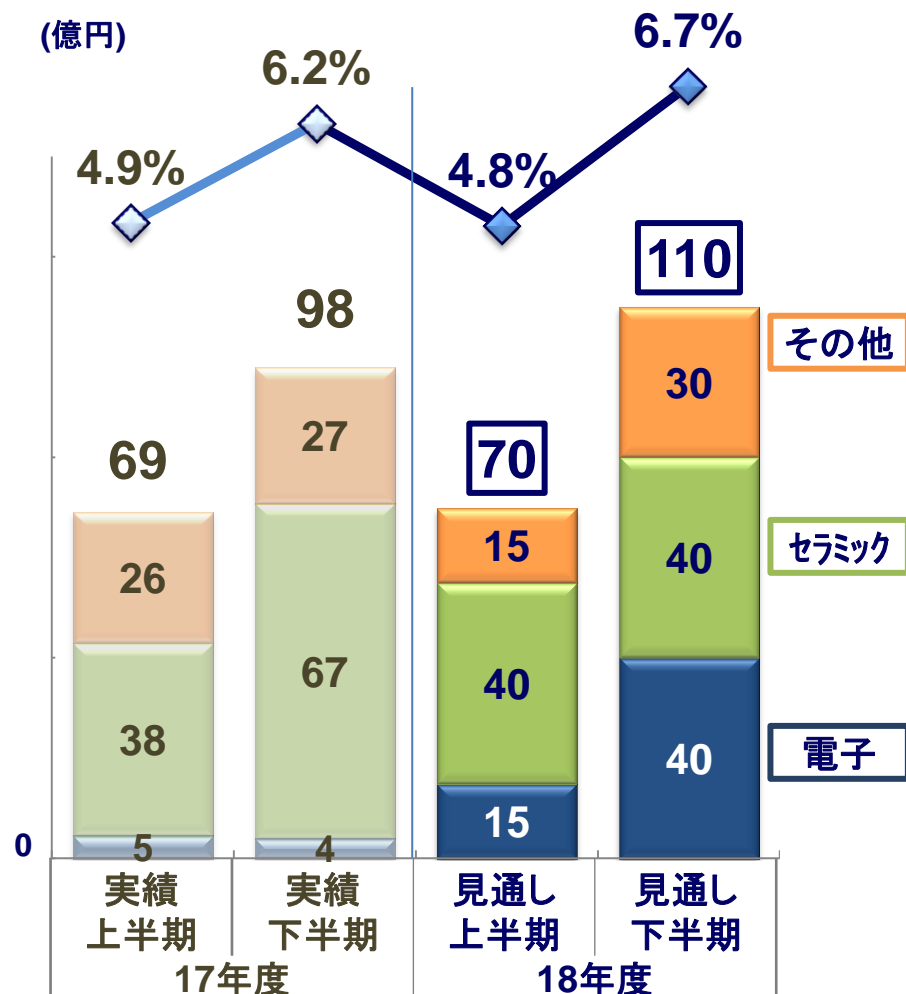
(億円)



## 営業利益

営業利益率

(億円)



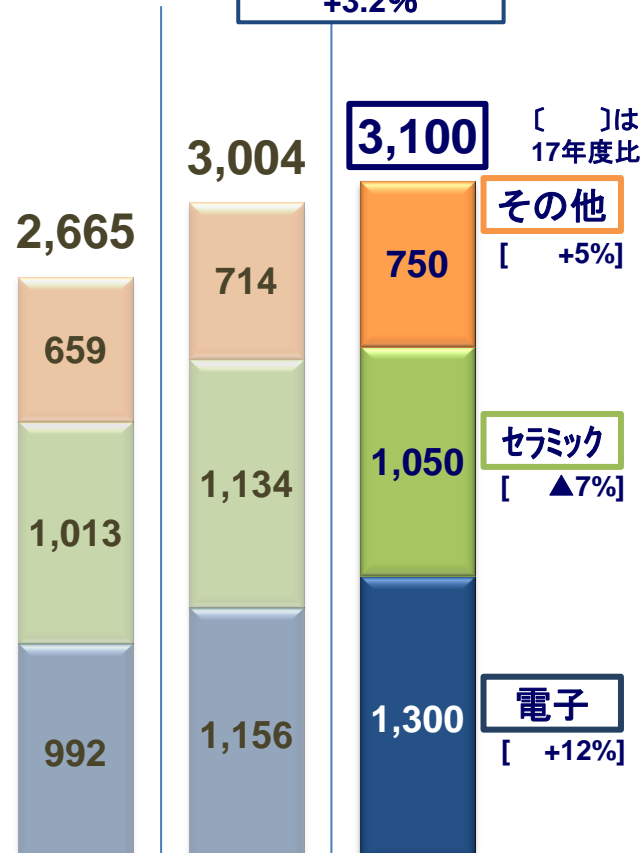
110	110	105	105	為替(ドル)
123	132	120	120	為替(ユーロ)

# 2018年度(通期) 売上高・営業利益・純利益 見通し **IBIDEN**

## 売上高

(億円)

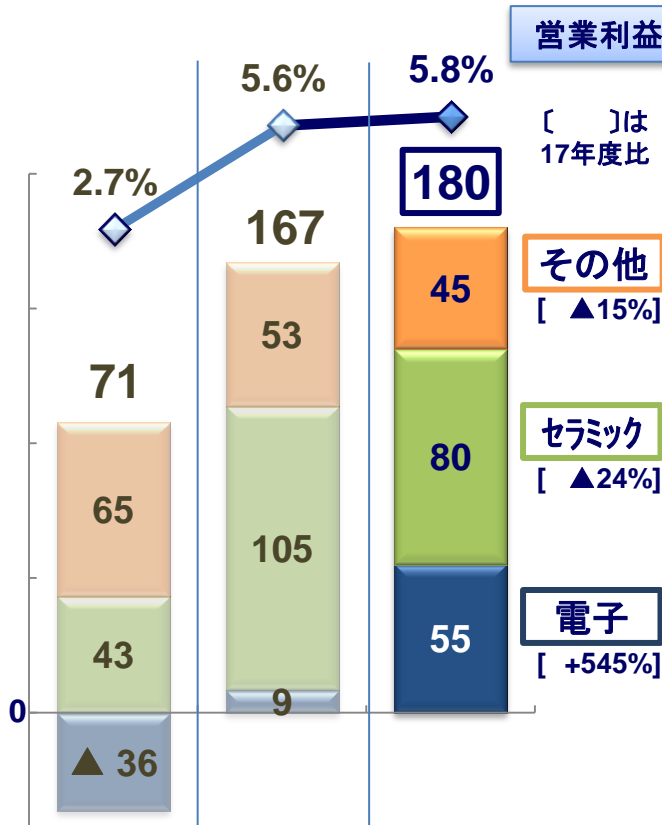
17年度比  
+3.2%



## 営業利益

(億円)

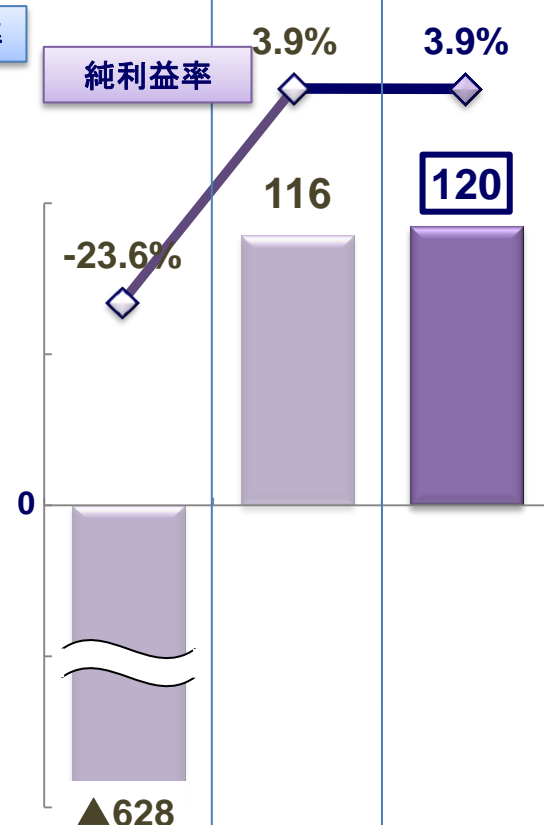
17年度比  
+7.8%



## 純利益

(億円)

17年度比  
+3.6%



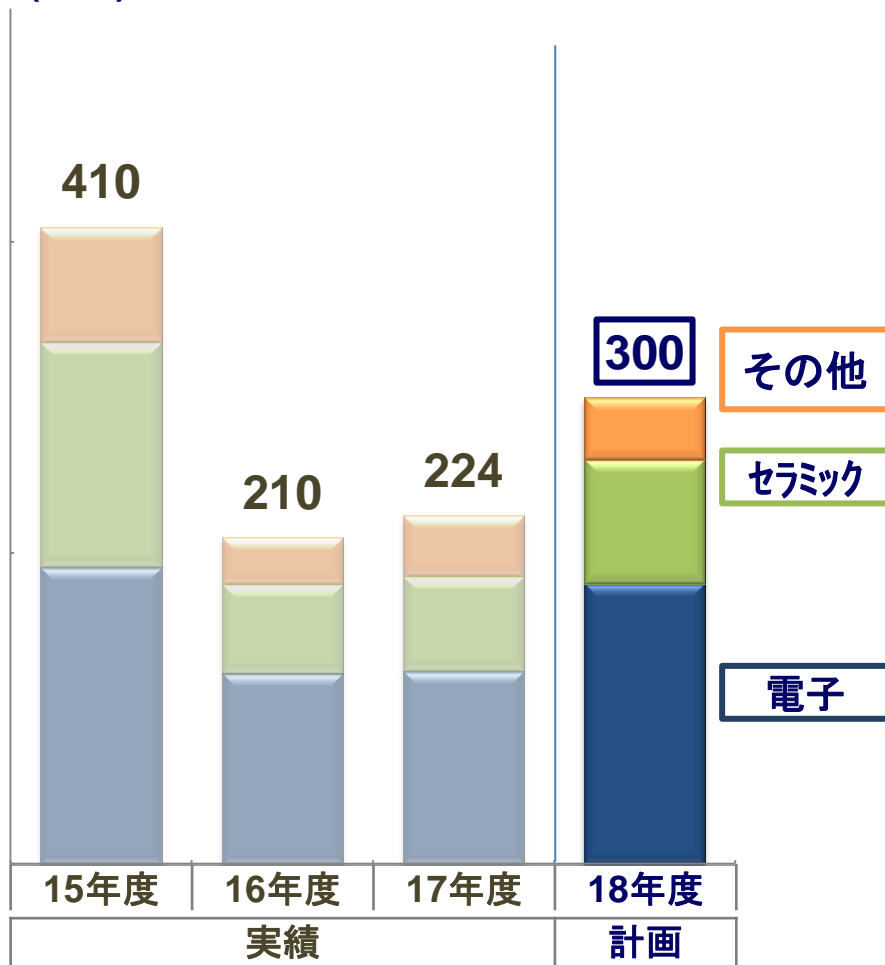
年度	為替(ドル)	為替(ユーロ)
実績 16年度	107	118
実績 17年度	110	127
見通し 18年度	105	120

# 設備投資(検収)額・減価償却費の計画

- 電子：成長領域への対応投資 (ファイン化・薄型化・MSAP対応)
- セラミック：高性能次世代製品への対応投資

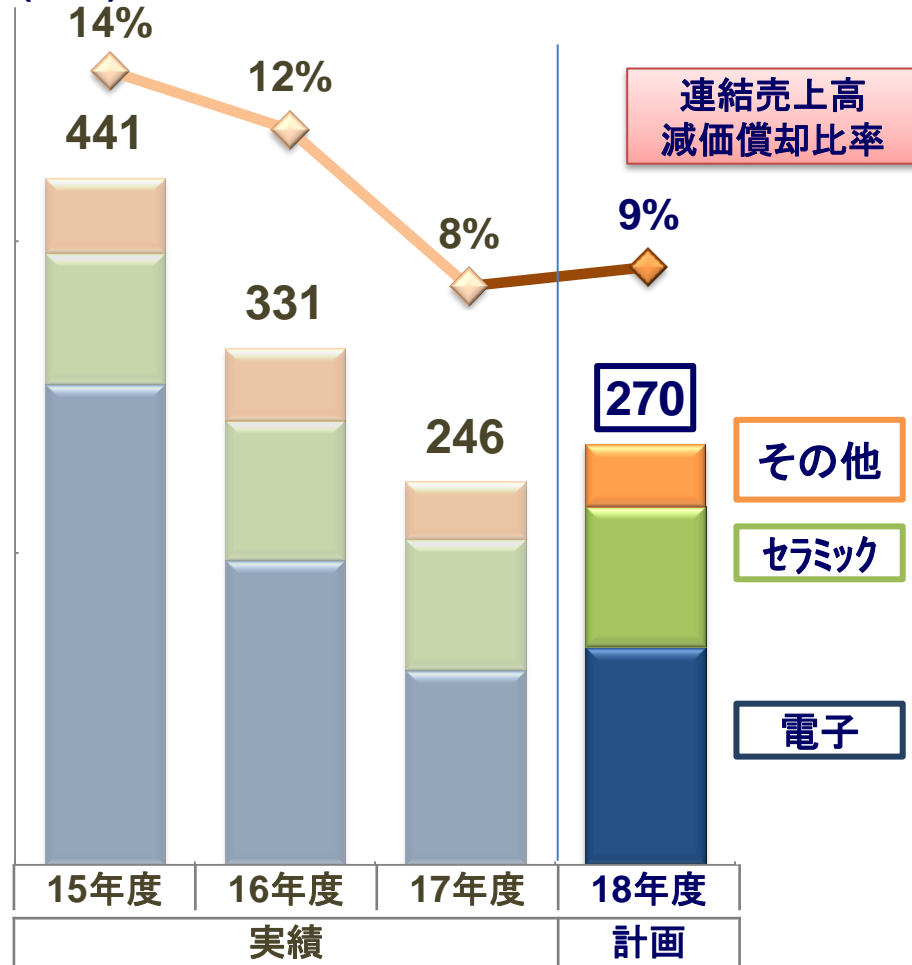
## 設備投資額

(億円)



## 減価償却費

(億円)





# 新中期経営計画

# 新中期経営計画 = To The Next Stage 110 Plan = **IBIDEN**

## 対象期間

2018年度～2022年度 (5年間)

## 活動の柱・重点実施項目

### 1. 既存事業の競争力強化

- 電子 : 既存領域(モバイル、PC)におけるシェア維持  
新領域(IoT、AI、データセンター、車載)で拡大
- セラ : 新興国市場で排気系事業拡大
- 国内 : 独自競争力(ビジネスモデル)構築で安定成長

### 2. 新規事業の拡大

- 開発センターの早期事業化
- アライアンスによるオープンイノベーション
- 社内ベンチャー制度による起業家(アントプレナー)育成

### 3. 人財育成

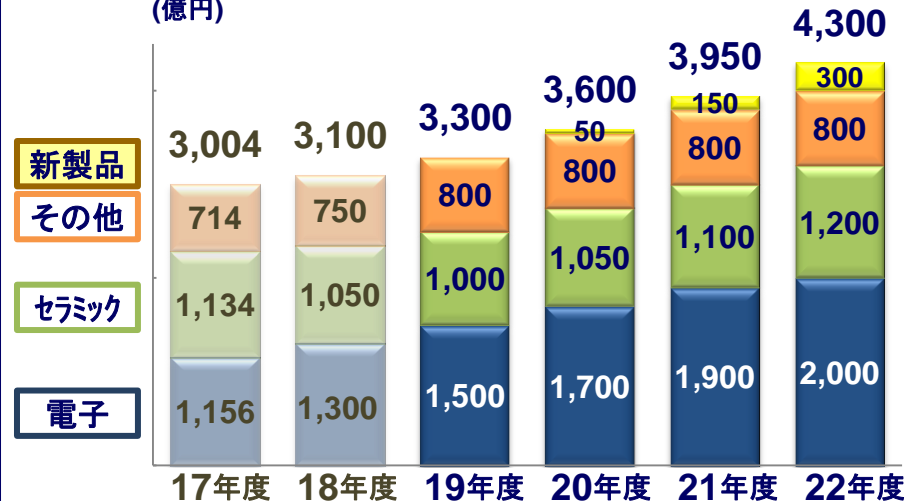
- ワークライフバランスを実現する働き方改革

### 4. ESG経営の推進

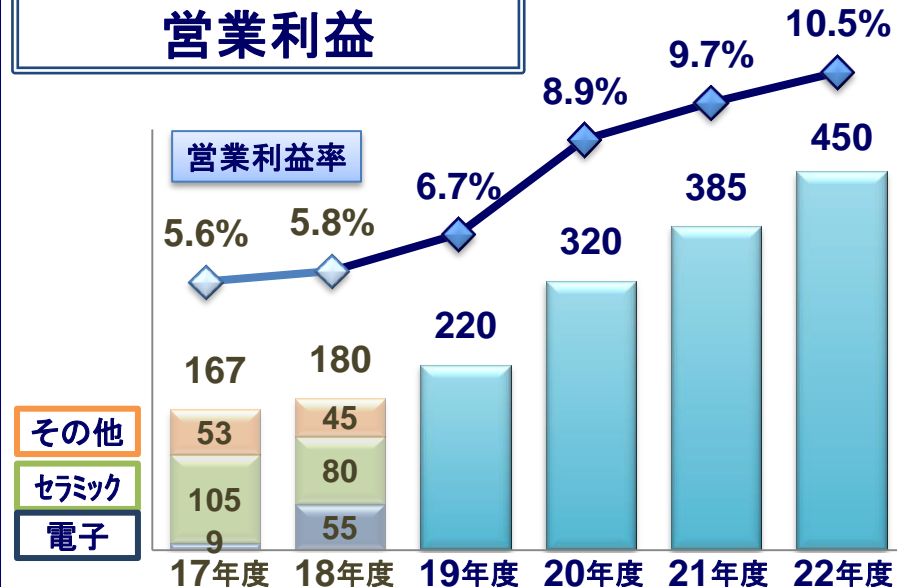
- コーポレートガバナンス、環境経営、社会貢献、株主還元

## 売上高

(億円)



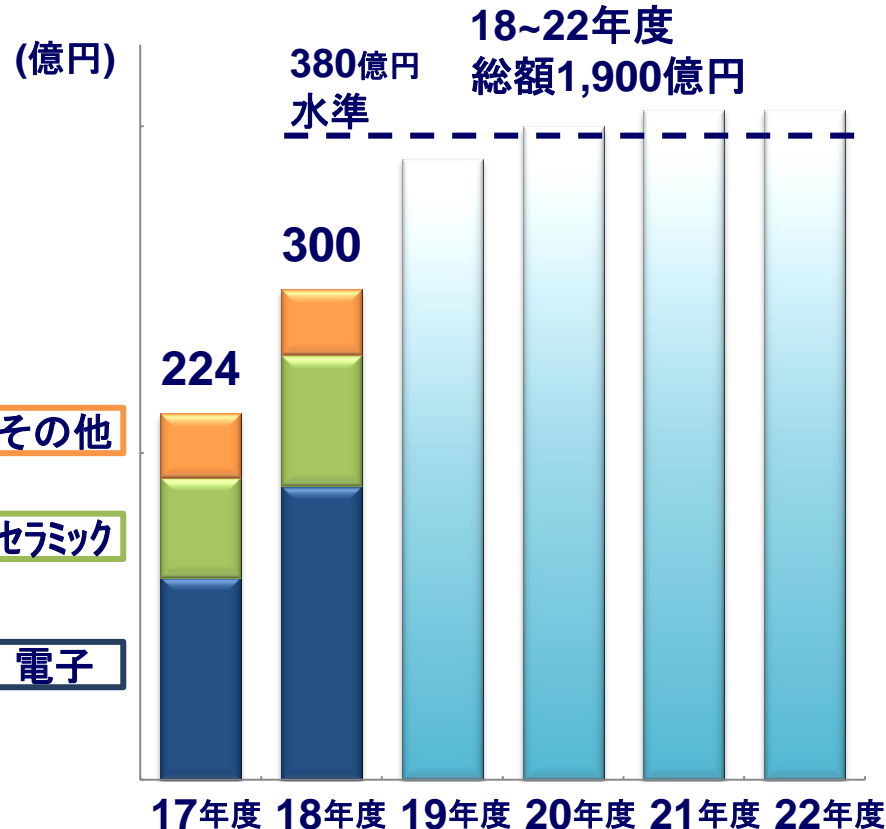
## 営業利益



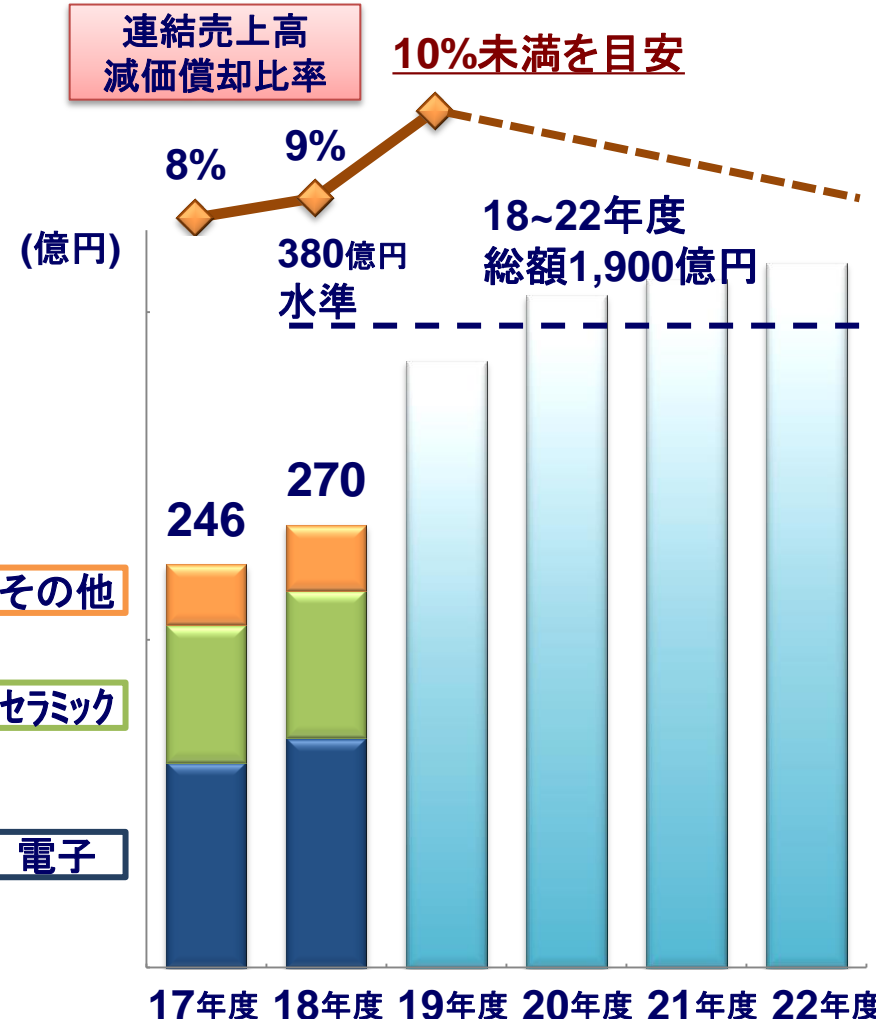
# 新中期 設備投資(検収)額・減価償却費の計画

□ 伸びる市場、新たな事業領域への投資を加速

## 設備投資額



## 減価償却費



# 市場見通しと 当社事業展望

## クラウドコンピューティングの拡大とインターネット領域の拡張によるデータ量の拡大

**産業領域**

AI : 機械学習用  
HPC、GPU



**2022**

**2020**

データセンター :  
ASIC、光伝送部品

5Gネットワーク : 基地局  
FBGA、アンテナモジュール

車載 : インフォテインメント、レーダー、  
LEDライト、自動運転

VR/AR : 画像処理用  
GPU

**2018**

サーバー

パソコン

スマートフォン  
タブレット

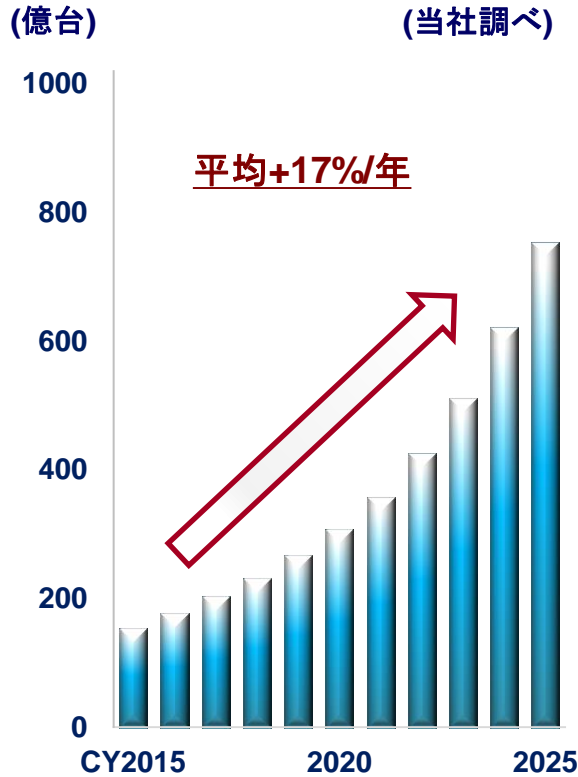
IoT : 家電、端末用  
LED、触覚センサ、充電コイル

ロボティクス : 小型コイル  
医療、ヒューマンサポート

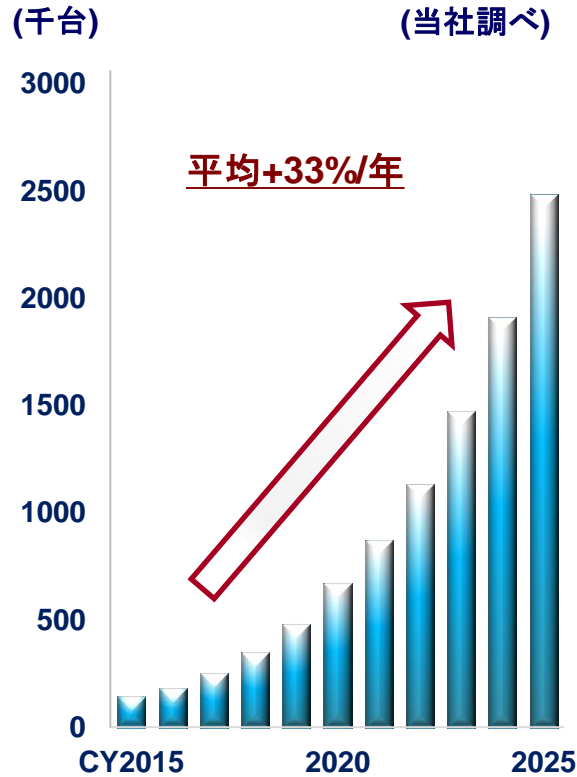
**民生領域**

注) 当該ページの画像については、著作権の都合上、掲載しておりません。

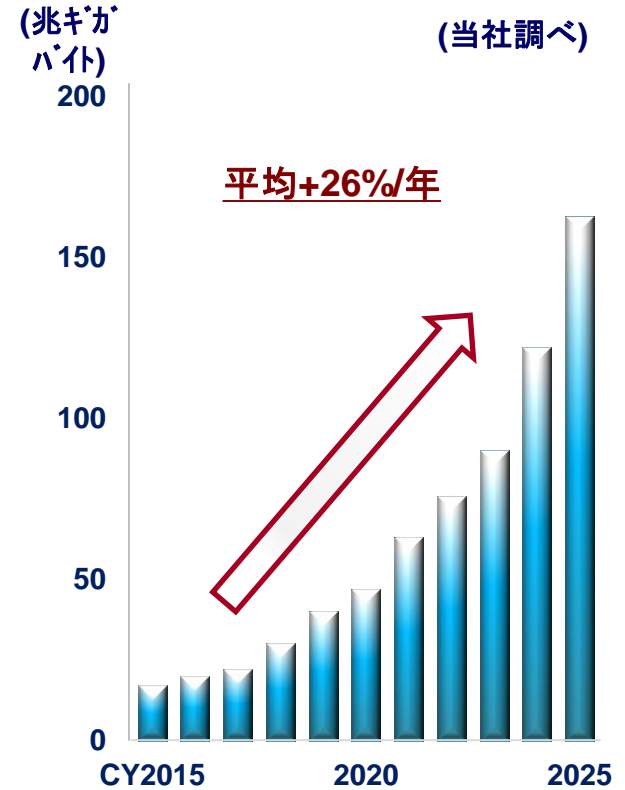
## IoT接続台数



## 5G基地局数



## データセンター需要



モバイル端末が5G通信+クラウド接続し、APUがPKGレベルに高機能化  
 → 薄型化・高密度化の要求

車などのモビリティがネットワーク接続+ADASを搭載し、車載用デバイスが高機能化  
 → 高密度化の要求

基地局がスモールセル化し設置数は約6倍、高周波採用+高速化でASICの需要拡大  
 → 高速伝送・低ロスのPKG・PWB要求

IoTと5Gの普及により高速大容量化 CPU+GPU+Switchの一体化でPKG市場拡大  
 → 大型化・高多層化・高密度化の要求

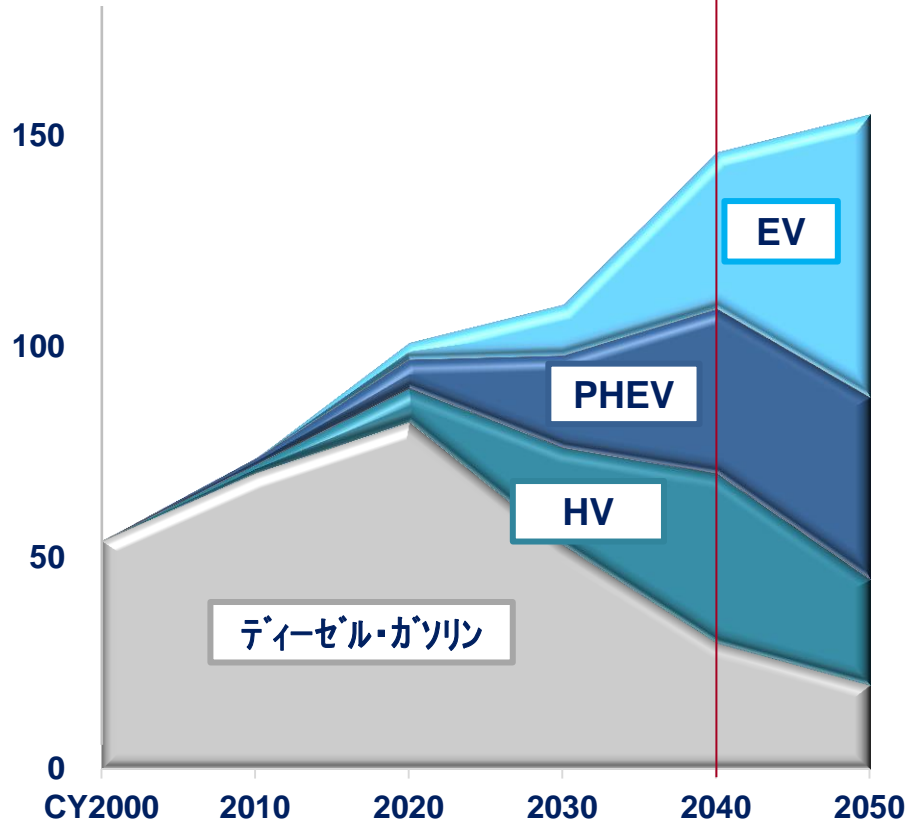
# 自動車市場の長期見通し

- 乗用車は長期的に電動化が進展するも、中・大型商用車は内燃機関が主軸
- パワトレインの変化に対し、求められる技術・製品を市場に提供していく

## 乗用車

(当社調べ)

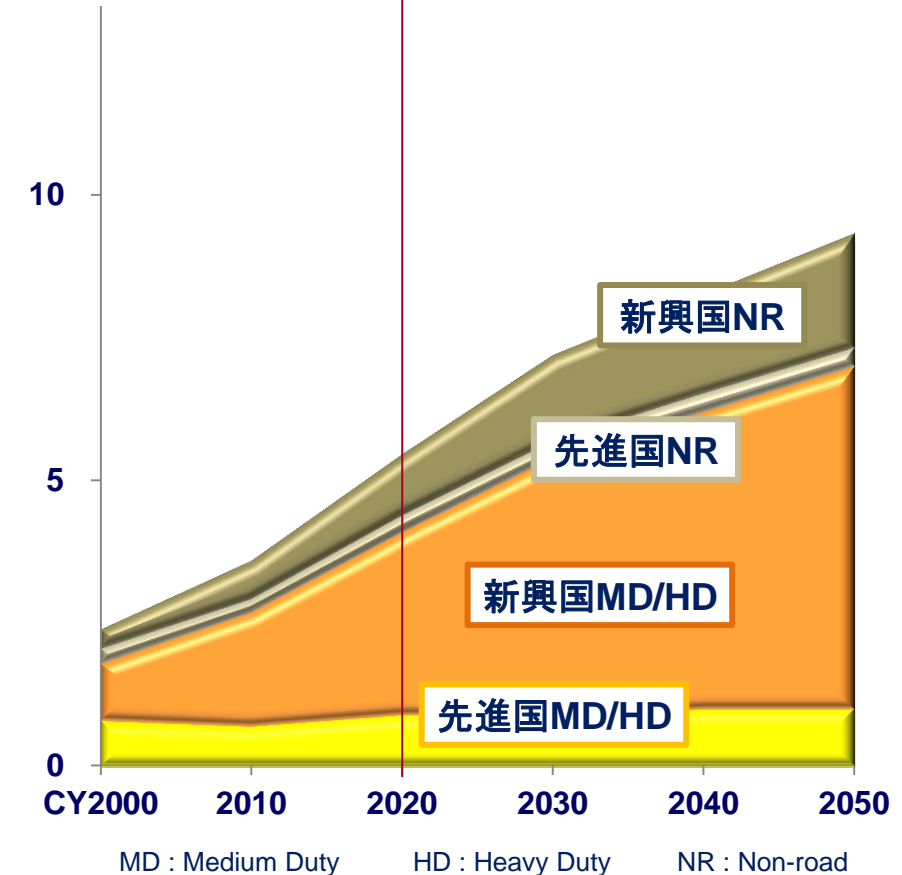
(百万台)



## 中・大型商用車

(当社調べ)

(百万台)



# 排気系事業

\*PC : Passenger Car (乗用車)  
 \*LCV : Light Commercial Vehicle (小型商用車)  
 \*HD : Heavy Duty Car (大型車) = 乗用車の約3倍換算



□ 新興国の大型市場、高機能次世代仕様製品を中心に継続成長を実現する

## フィルター市場

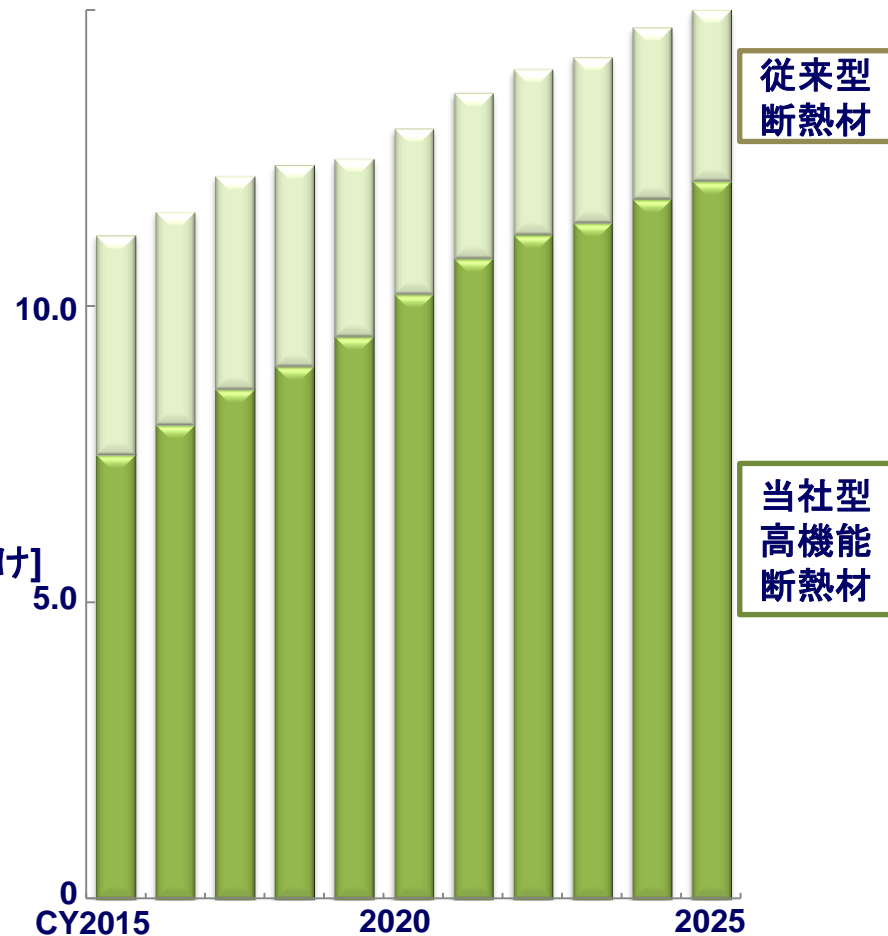
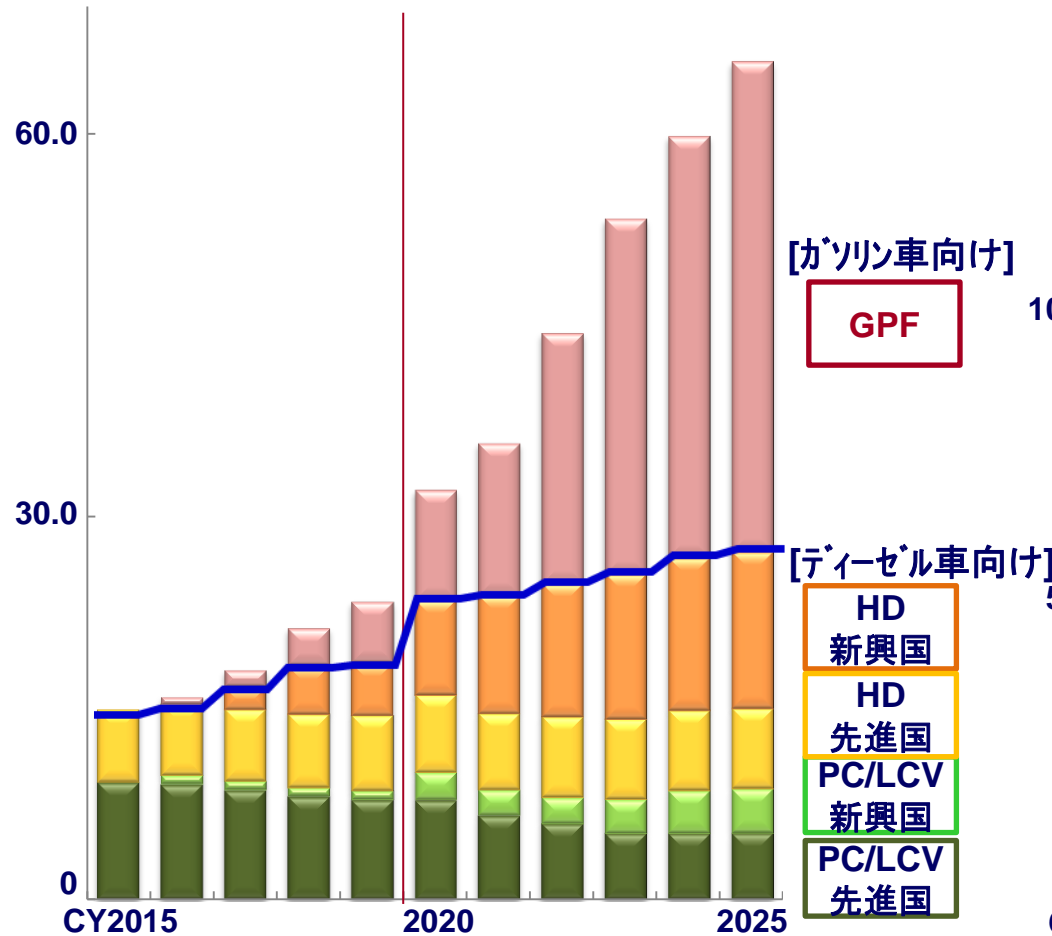
(当社調べ)

(百万台)

## 自動車用触媒担体 断熱マット

(当社調べ)

(千ton)





# 4つの開発センター

## 自動車機能製品開発センター

**HV/PHV**パワートレイン用高機能排気システム

HVからPHV対応 大気のクリーン化

高機能触媒担体

電気加熱式触媒担体

セラミック製  
廃熱利用熱交換器

## 先進セラミック開発センター

航空機の燃費を飛躍的に向上させる  
軽量・高耐熱セラミック複合タービン部材

## 将来モビリティ製品開発センター

**EV/PHV**の航続距離拡大と安全性&快適性の追求

軽量樹脂ボディ部材

次世代電池材料

熱制御材料

音制御材料  
ノイズ発生源周辺部材

## バイオマテリアル製品開発センター

独自のバイオ技術による新分野開拓

化学農薬フリー植物活力剤

機能性成分抽出材料  
(ヒトへの吸収性向上)



## □ 独自の競争力(ビジネスモデル)を構築し安定成長を実現する

### ■ 建材



東名高速 駒門SA (抗菌メラミン不燃化粧板)

### ■ グリーンビジネス



東京ミッドタウン日比谷 6Fパークビューガーデン

### ■ 医療向けソフトウェア



健診、リハビリ支援、メンタルケア

### ■ 食品加工

植物性たん白加工食品 (大豆ミート)

### ■ 吸音発泡樹脂



自動車部品  
ツールボックス

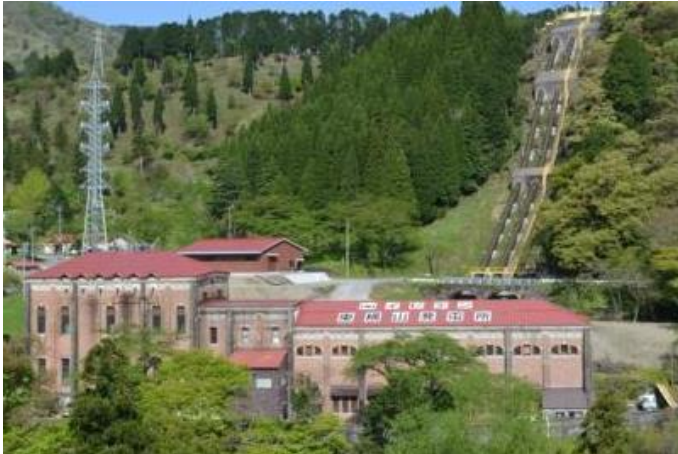
### ■ 射出成形品



その他  
自動車部品

# 電力事業

## ■ 水力発電 ( 27,900 kW)



東横山水力発電所



川上水力発電所

## ■ 太陽光発電 ( 14,000 kW)



衣浦事業場 水上フロート式太陽光発電所

## ■ 火力発電( 29,410 kW)



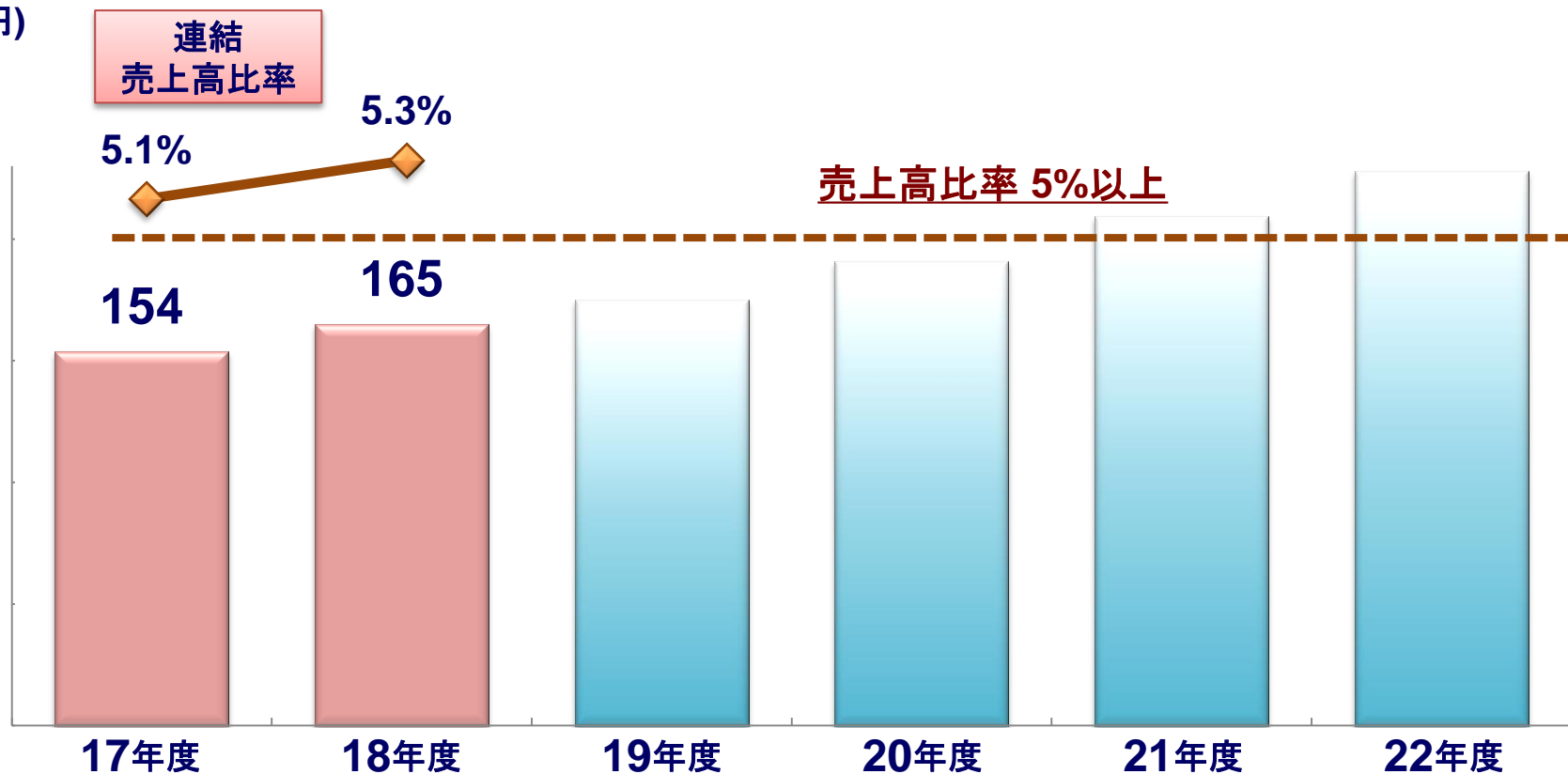
大垣事業場 コージェネレーションシステム

# 研究開発費の計画

- 4つの開発センターを軸に研究開発費を投入し、新製品の早期事業化を果たす
- グループ会社事業にも、技術開発部門の支援を入れ、独自の競争力づくりを行う

## 研究開発費の推移

(億円)



# ESG経営の推進



# ESG経営からSDGsへ

## ガバナンス向上・環境経営



MSCIジャパンESGセレクト  
リーダーズへの組入れ



FTSE Blossom Japan  
Index構成銘柄に採用

## 働き方改革

1. 自工程完結活動  
による生産性改善
2. 経産省が創設した  
認定制度  
「健康経営優良法人  
2018ホワイト500」に  
2年連続認定



## SDGsへの展開



当社の企業理念

『私たちは、人と地球環境を大切にし、  
革新的な技術で、豊かな社会の発展に  
貢献します』

の実践を通じてSDGsに展開する

**(免責事項)**

MSCI : MSCI指数におけるイビデン株式会社に関する情報、本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマーク、MSCI名称の使用は、MSCIまたはその関連会社によるイビデン株式会社への後援、保証、販売促進には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的所有権となります。  
MSCI、MSCI指数ならびにロゴは、MSCIあるいはその関連会社の商標、サービスマークです。  
FTSE : FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Companyの登録商標)はイビデン株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Index組み入れの要件を満たし、本ウェブサイトの構成銘柄となったことを証します。  
FTSE Blossom Japan Indexはグローバルインテグレーション・パフォーマンス・リーダーである  
FTSE Russellが作成し、環境、社会、ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている日本企業のパフォーマンスを測定するために設計されたものです。FTSE Blossom Japan Indexは対抗型投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。

# 株主還元

- 安定配当を継続する
- 2018年3月末時点 100株以上所有の株主様に対し、株主優待を実施

## 一株当たり配当金

